



学生近況報告

6年次の近況報告

友とビールと国試と思い出

中尾 慎 吾 (6年次)

突然ですが皆さん、尿酸の正常値はわかりますか？ また、痛風の治療薬は答えられますか？ 正解は7.0未満。NSAIDs、コルヒチン等で治療します。国家試験を来年に控えた私達にはとても簡単な問題です。では、私の尿酸値はわかりますか？ ——即答してくれる友達を得た事が、私にとって一番の薬となりました。思えばこの6年、私の周りにはいつも素晴らしい友人達がいました。皆とダラダラ遊んだり、苦しみながら試験問題を解き合ったり、思い出は数え切れません。今、皆はそれぞれ、自分の将来を描き、理想の医師になる準備をするべく全国の様々な病院を見学しています。県内に残る人もいれば、遠くの地での研修を決めた人もいます。二度と会えないかも考えると寂しくて仕方がありません。残り少ない日々を如何に勉学に励みながら楽しく過ごすか。そんな事ばかり考えている近況をここに報告します。来年の今頃に、研修医として日々業務に追われながらも、充実している私達の生活をまた報告出来たならば、これに勝る喜びはございません。どうか楽しみに待って下さい。



5年次の近況報告

5年次の近況

鈴木 翔 子 (5年次)

早いもので今年が始まって5か月が経ち、沖縄は梅雨入りの季節となりました。湿気がひどく、時に憂鬱な時期ではありますが、沖縄にとっては

水をためこむ大切な時期でもあります。

1月から始まった臨床実習もすでに半分が終わろうとしています。私たちは3年間の座学を終了し、実際の現場で医師になるのに必要なさらなる知識、態度、視点を身につけようと、日々出会う経験を一滴でも多く溜め込もうとしている最中です。

昨年末のCBT、オスキーの際には半ば意味も分からず詰め込んだ事柄が、病院では日々実践されており、実際に患者さんの症状や所見を目にすると強く印象づけられます。オスキーではかなり緊張した私も多少鍛えられたようで、実際に新患の方の予診をとったり、担当患者さんの訴えを病室で聞くなどしているうちに、その難しさの中に楽しさを見出すようになりました。

また、4月から始まった倫理討論会では、時事テーマについて皆で検討したりディベートをしたりしています。この一年の間に大学生活も大きく変化し、不安に思うこともありました。しかしその中で、友人の視点や、先生をはじめとした医療者の方々のお話や姿、患者さんとの関わりから、自分自身を見つめ直すいい機会を与えられているようにも感じています。

大学生活も気づけばあと1年半となり、私たち5年生も進路について考え始める時期が近づいてきました。沖縄の地で、深く多くの可能性を浸みわたらせ、それぞれが思い描く医師になれるよう、同じ学年のみんなと充実した毎日を過ごしたいと思えます。

